

腎臓病克服のための仙台宣言

日本腎臓学会理事長	柏原直樹
日本腎臓学会国際委員長	南学正臣
第60回日本腎臓学会学術総会総会長	伊藤貞嘉
日本腎臓学会国際担当幹事	西山 成

一般社団法人 日本腎臓学会
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-28-8 日内会館
TEL : 03-5842-4131 FAX : 03-5802-5570
E-mail アドレス : office@jsn.or.jp

腎臓病は進行すると腎不全に至るだけでなく、脳卒中や心筋梗塞などの発症とも関連しており、健康寿命を毀損する重大な疾患と認識されています。加齢もその成因に関与しており、高齢社会の到来を迎え、透析患者数は年々増加の一途をたどっており、医療財政を圧迫する要因ともなっています。早急に腎臓病に対する有効な対策を講じる必要がありますが、世界規模の努力にもかかわらず未完に終わっています。

これに対して、国際腎臓学会と一般社団法人日本腎臓学会は、第60回日本腎臓学会学術総会会期中である平成29年5月27日に仙台宣言を公表しました(図1)。仙台宣言は、国際腎臓学会と日本腎臓学会が力を合わせ、腎臓病克服に向けて世界中の英知を集結させて、腎臓病の周知、診断、治療などにおけるあらゆる活動を進めることを共同宣言として公表したものです。日本腎臓学会理事長 柏原直樹、第60回日本腎臓学会学術総会長 伊藤貞嘉、国際腎臓学会理事長 David Harris の三者による調印式を、第60回という記念すべき日本腎臓学会学術総会で実施できましたことを大変喜ばしく思っております。

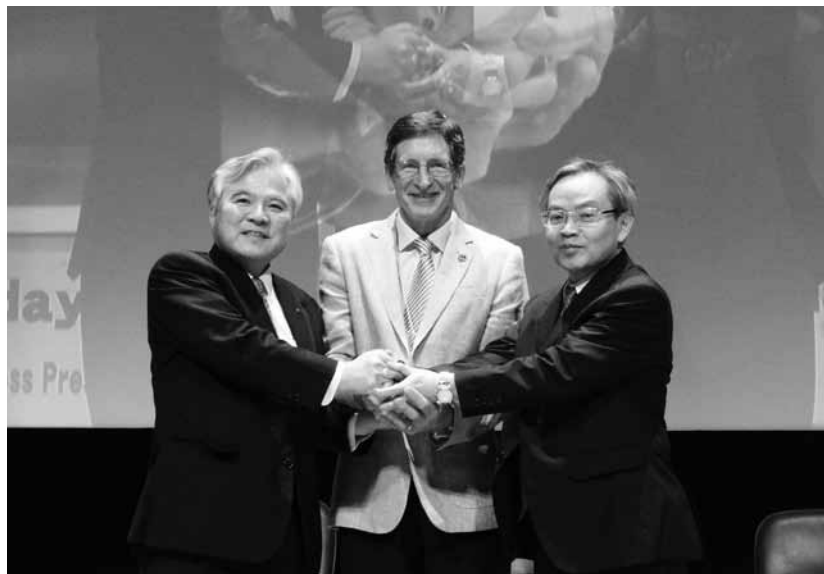


図1



図2 原文の写し

仙台宣言の具体的な内容は以下の通りです(図2)。

国際腎臓学会と日本腎臓学会は、今後、以下の活動を協力して真摯に取り組んでいくことを、ここに宣言します。

- 腎臓病の早期発見や早期治療の重要性を一般市民に認知してもらえるよう、絶え間ない努力を続けます。
- 腎臓病の早期発見のために検診を推進します。
- 腎臓病についての教育や研修を、世界規模で展開します。
- 腎臓病と、それに関連する病気を持つ患者数を減らすことを目指します。

国際腎臓学会と日本腎臓学会は、今後、以下の活動を協力して支援することを、ここに宣言します。

- 腎臓病の機序を明らかにするための、最新の先端研究の推進。
- 腎臓病の予防・診断・管理に対する、エビデンスに基づいたガイドラインの作成。
- 最適な医療を提供するためのガイドラインに基づく、個別化された患者ケア。
- 腎臓病に対する全人的な医療制度の確立。

日本腎臓学会は仙台宣言のもと国際腎臓学会と協力し、腎臓病に対する啓発、予防、治療などに関するあらゆる活動をグローバルに進めることにより、腎臓病の克服に新しい希望をもたらすべく、弛まない挑戦を続けます。また、学会の国際化を進め、国際的標準治療の達成と、アジアのリーダーとして日本の果たすべき役割を実行し国際貢献を進めて参ります。現在、具体的な対策を検討し、すでに一部は実行しております。皆様のご理解・ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。